

生物暦 Vol.1

国立環境研究所 生物季節観測研究チーム

1.お礼とごあいさつ

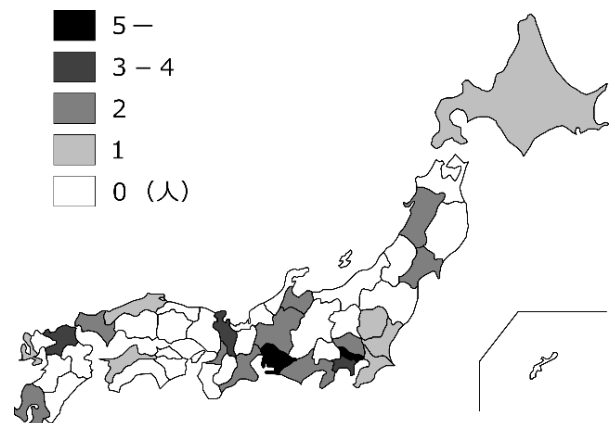
暦では秋が立つはずの 8 月に、目立つのはセミの声ばかり。厳しい暑さが続いておりますが皆様お変わりありませんでしょうか。セミの初鳴きの観測報告が落ち着き、ようやくニュースレター第 1 弾がお送りできるようになりました。

まずは、生物季節モニタリング（試行調査）にご参加いただきました調査員の皆様へ、心からの感謝を申し上げます。この調査は、たくさんの調査員の方々のご協力が無くては成り立ちません。現時点（7月31日現在）、すでに 22 都道府県の方々からご参加のお申し出をいただいております、ようやく観測「ネットワーク」らしくなってきたところです。

このニュースレターは、試行調査に関わってくださる方と、国立環境研究所の生物季節観測研究チームとのつながりを一層強いものにするため、不定期に発行させていただく予定です。

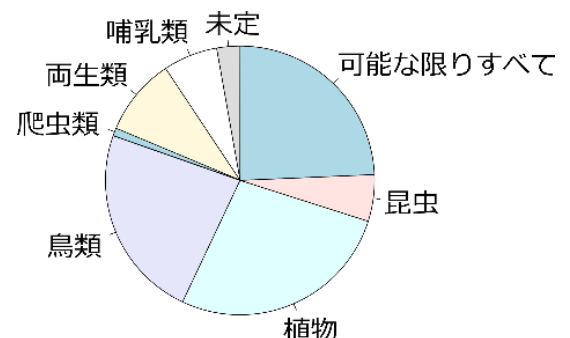
2.ご参加いただいている方の全国的な「分布」

個人でご登録いただいている調査員の方々のお住いを都道府県ごとに集計しました(右図)。おかげさまで、北海道から鹿児島県まで、広い範囲からご登録をいただいております。関東から東海地方が特に充実しており、一番多くの方にご参加いただいている東京都は 10 名です。中国・四国エリアや東北エリアはまだまだ手薄なため、積極的に声がけさせていただきたいと思っております。もちろん、すでに調査員がおられる都道府県でも、北海道のように面積に対してまだまだ少ないところもたくさんありますので、今後も調査にご興味のある方にお声かけいただくなど、ネットワークの拡大にご協力をお願いします。



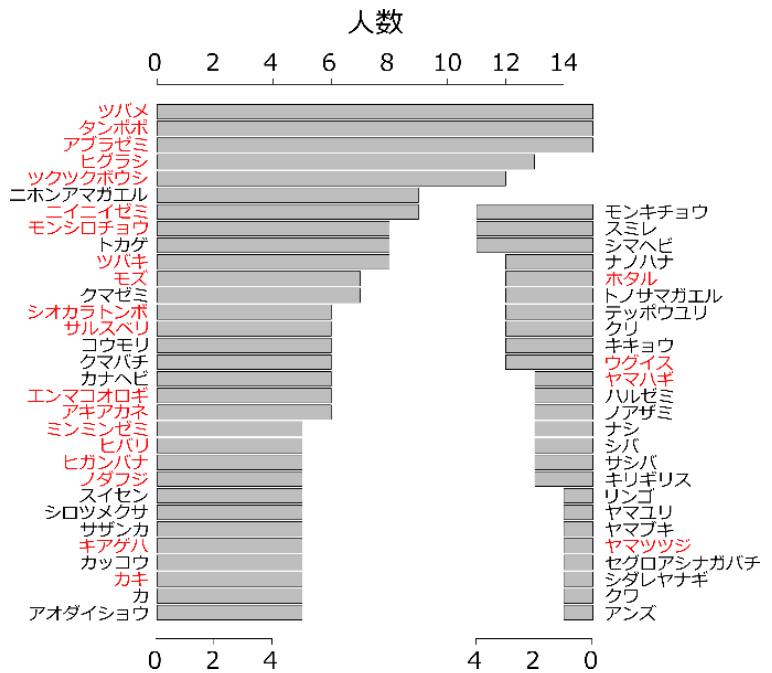
3.観測をご表明頂いた種目と人数(登録フォームからの集計)

オンライン説明会への参加フォームにてお答えいただいた、関心のある生物群についての割合や、対象としてご観測いただける生物種目の集計結果です。たくさんの方に「可能な限りすべて」という心強い回答をいただきました。ありがとうございます。なお、今回ご提案した 66 種目の観測項目は、昆虫 19、植物 32、鳥類 7、爬虫類 4、両生類 3、哺乳類 1 種目でした。ご回答いただいた各生物群の割合をみると、鳥類と両生類は、種目数が少ないにもかかわらず、多くの方からお申し出をいただいている「人気」のグル



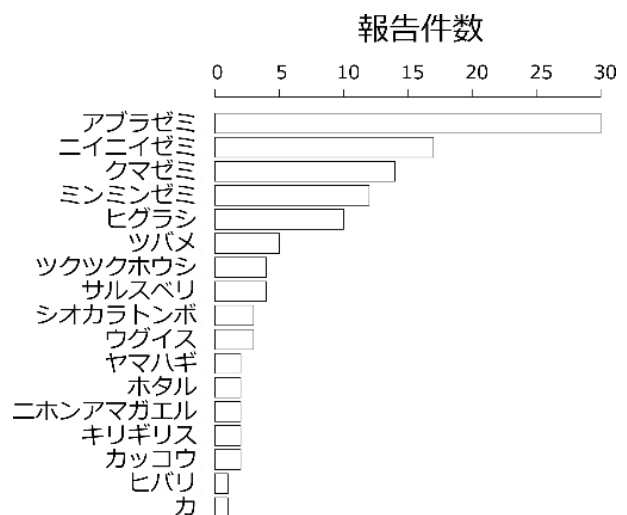
ープといえます。一方で、昆虫は、観測対象となる種目数は植物に次いで多いものの、回答数に占める割合は少なめです。

種目ごとに、観測のお申し出をいただいた人数を集計した結果が右の棒グラフです。種目名が赤色のものは、それぞれ“優先種目”としてご提示したものです。優先種目の中にも、ホタルやウグイス、ヤマハギ、ヤマツツジなどについてはお申し出が少ないものがあります。季節的にこれからということもありますが、改めまして、観測が可能かご検討いただき、担当出来そうであればご連絡をお願いいたします。



4. ご報告いただいた各種目の報告件数

7月に入ってから、セミ類の報告が集まりつつあります。同種のセミでも場所によって初鳴きの時期が異なる傾向も見えてきました(整理してからご報告します)。もし観測記録をお持ちの方でまだご報告いただいている方は、お早めにご報告をお願いします。なお、一部の方からは、春に、個人的にご観測いただいていた観測記録もご報告いただいております。ありがとうございます。



5. フェノロジー研究豆知識

・ European phenology network とは？

説明会でもご紹介したヨーロッパでの取り組みをご紹介します。このネットワークは、フェノロジーモニタリングの観測記録や研究の成果を、気候変動の影響評価や適応策の立案など、実践的な利用として促進させるために設立されました。このネットワークでは、①既存の長期観測データの統合・連結・拡張、②データベースの構築と公開、③研究機関や教育機関・行政など様々な組織が参加する会議の開催、④ワークショップの開催など、フェノロジーデータを利用する研究やその成果の活用を推進しています。たとえば、教育の分野では、連携する教育プログラム(GLOBE)があります。これは生徒や教師が観測した記録を研究者が研究利用し、その結果を教育の場に還元するような取り組みです。『THE GLOBE PROGRAM』のウェブページはこちら(<https://www.globe.gov/web/guest>)

～・～・～・～・～・～活動へのご意見・お問い合わせの窓口～・～・～・～・～・～

E-mail: ccca_phenology@nies.go.jp Tel: 0298-50-2375 (辻本・西廣)